

保守検査日程表

メンテナンス点検スケジュール

メンテナンススケジュールに従うことにより、お使いのサーモキングユニットを常に最適の作動状態に保つことが出来ます。次に一般的なスケジュールを表記します。具体的な詳細については、ユニットのメンテナンスマニュアルや、このマニュアルの“自己診断テスト”の内容を参照して下さい。

使用開始から一週間後 :

- ベルト張力の点検
- ユニット取り付けボルトを締める
- クーラントレベルの点検
- 冷媒オイル・レベルの点検
- 冷媒量の点検

保守検査日程表

メンテナンス点検日程表

コンデンサ ユニット

作動前	1200時間	2000時間	毎年/3000時間	点検/点検項目
				マイクロ・プロセッサ
●				自己診断テスト(操作方法“自己診断テスト”を参照)
				エンジン
● ● ● ● ●	● ● ● ● ●	●	●	燃料供給の点検 エンジンオイル・レベルの点検 ベルトの状態や適切な張力の点検 高速運転時の油圧や温度の点検 異常音、振動などの有無を確認する エアクリーナ ホースに損傷の有無を確認する 燃料ポンプ フィルタの清掃と点検 エアクリーナエレメントの清掃。2000時間又は1年(いずれか早い方)でエアクリーナエレメントの交換 EMI 2000(黒色)燃料フィルタの交換 エンジンオイルとフィルタの交換。オイルはAPIのCI-4級又はそれ以上(ヨーロッパACEAE3級)とEMI 2000 バイパスオイルフィル

保守検査日程表

コンデンサ(続)

作動前	1200時間	2000時間	毎年/3000時間	点検/点検項目
		●		スタンバイモータ(ジャックシャフト)/コンプレッサーベルトの調整。詳細は、“エンジンメンテナンス”の“スタンバイモータ(ジャックシャフト)/コンプレッサーのベルト”を参照
		●		スナバー調整・点検
			●	燃料タンクの水抜きとベントの点検
			●	エンジンスピード(高低速)点検・調整する
		●	●	エンジン取り付けマウント状態の点検
			●	クーラントの点検 -34°Cで不凍を維持
			●	少なくとも 3000 時間毎に燃料噴射ノズルの点検*
			—	エンジン ELC クーラントの交換。5 年又は 12,000 時間毎
				ELC クーラントが使用されているユニットにはエキスパンションに ELC ステッカが貼ってあります
* EPA 40 CFR 89 部分の規定に準ずる。				

保守検査日程表

コンデンサ(続)

作動前	1200時間	2000時間	毎年/3000時間	点検/点検項目
				電気
● ● ●	● ●		● ●	コントローラにアラームの有無を確認する 自己診断テストを行う バッテリ電圧点検する バッテリ端子とバッテリ液の比重を点検 コネクタや配線ハーネスに損傷の有無を確認する オルタネータベアリングとハウジングの点検** スタンバイモータベアリングの点検(50型)**
**ベルトを取り外し、手動でシャフトを回し、異音の点検(シャフトは円滑に回転すること)。				
				冷媒関係
●	● ●		● ● ● -	冷媒レベルの点検 コンプレッサオイル・レベルの点検 サクションプレッシャーレギュレーターバルブ設定やデフロスト、ヒート運転の点検 ディスチャージとサクション圧力の点検 コンプレッサ能力の点検 2年毎にドライヤとコンプレッサオイルフィルタの交換

保守検査日程表

コンデンサ(続)

作動前	1200時間	2000時間	毎年/3000時間	点検/点検項目
				構造部
● ●	● ● ●	●	● ● ● ●	目視でユニットにオイル漏れの確認 目視でユニットに損傷、緩みや破損した部品(ダクトやバルクヘッド)の有無を確認 鏡等でクラッチシューとライニングの摩耗状況又、ベアリングを点検する ** アイドラーとジャックシャフト(装備の場合)のベアリング磨損やオイル漏れの有無を点検する ** コンデンサコイル、エバポレータコイルとデフロストドレンホースを含め、ユニット全体を清掃する ユニット全体、燃料タンク、エンジンとスタンバイモータの取付けボルト、ブラケット、配管、ホースなどを確認する
**ベルトを取り外し、手動で軸受を回し、音を聞く(軸受は円滑に回転すること)。				